



ジャガー・ルクルトが、中国の成都で

「THE SOUND MAKER (サウンドメーカー)」展の開催を発表

著名なスイス人アーティスト、ザイムーンに依頼した新たな芸術作品を公開するとともに、チャイム機構を備えた時計の輝かしい伝統を探求します

一年に渡って時計製造における音の芸術を称えてきたジャガー・ルクルトは、そのハイライトとして11月10日から中国の成都にある広東ホールで「THE SOUND MAKER (サウンドメーカー)」展を開催します。この展覧会では、ジャガー・ルクルトのクリエイティブで文化的な世界を体験していただくことができます。ジャガー・ルクルトのチャイム機構を備えた時計の独特で豊かな伝統 - 過去、現在、未来 - を探求し、日々の生活の背景を成す自然の音の源であり、ジャガー・ルクルトの本拠地でもあるジュウ渓谷にオマージュを捧げています。

新たな芸術作品を世界初公開

時計と芸術を結ぶ対話を拡大するこの展覧会の中心には、今回が初公開となるジャガー・ルクルトから依頼を受けたスイスの現代美術家ザイムーンによる新しい「音響彫刻」インスタレーションが設置されています。この作品は、中国で初公開された後、2021年に世界各国で展示される予定です。

今回の新しい作品では、ザイムーンはマニファクチュールやその周囲の自然の中にあり、ジャガー・ルクルトの精神に内在するものとしての音の世界を表現しています。ザイムーンは、作品にシンプルな素材や時計部品を含むリサイクルの工業部品を利用して、従来の彫刻、動きや音の概念を新たに定義し、これを見る人に感覚的な体験をもたらす超越的な世界を作り出しています。

「私はまず、柔らかく、癒してくれるような雨の音に魅了されました」とジャガー・ルクルト CEO のカトリーヌ・レニエは述べています。「さらに近づいてみると、金属の動きに心を奪われました。見る角度を変えることによって異なる感覚が呼び起こされるので、何度も立ち止まって眺め、耳を傾けてみたくなります。」

ありふれた素材からロマンティックな世界を引き出し、構造と仕組みの複雑なシステムを通じて刺激的な音を作り出すという能力において、アーティストであるザイムーンとマニファクチュールジャガー・ルクルトの時計職人の作品にははっきりとした類似性があります。時計のムーブメントの



部品が組み立てられると独自の生命を帯びているように見えるのと同じように、ザイムーンが彫刻に組み合わせる工業的に生産された要素は独特な動きを作り出し、ユニークで新しい音と視覚の効果を生み出します。

今回の作品を依頼するに当たって、ジャガー・ルクルトはザイムーンをジュウ溪谷に招待しました。そこで彼は溪谷の自然の音に耳を傾け、マニファクチュールでチャイム機構を備えた時計を製造する専門職人たちと一緒に過ごしました。文化と概念を新たに定義し直した成果であるザイムーンの新作インスタレーションは、ユニークな音のシグネチャーを作り出しています。それは、周囲の自然やマニファクチュールにある音を想起させるものであり、同時に時計製造アトリエから眺めことのできる湖の表面に波打つ光を捉えたものでもあります。

ジャガー・ルクルトにおける音の物語

「THE SOUND MAKER (サウンドメーカー)」展は、187年におよぶ歴史を通じてジャガー・ルクルトを導いてきた伝統と革新という2つの価値観に敬意を表することで、訪れる人々をジャガー・ルクルトの素晴らしい遺産を振り返る旅へと誘います。歴史的コレクションと現行コレクションの両方から選ばれた希少モデルやユニークなタイムピースの数々、また、今回が初公開となる文書や工芸品が展示された今回の展覧会では、最も洗練されたミニッツリピーターや複雑なグラン・ソヌリから極めて実用的で人気の高いメモボックス アラーム時計まで、メゾンの創業当時に始まり、新しい2020年モデルに至るまでチャイム機構を備えた時計の進化をたどります。

この旅は、最も歴史が古く、歴史的にも重要なルクルトのチャイム機構を備えた時計作品の数々を振り返ることから始まります。このうちのいくつかは今回が初公開となります。そのハイライトとなるのは、ジャガー・ルクルトの世界的な名声を作り上げた技術発明と特許、そして有名時計ブランドにムーブメントを供給したことで時計メーカーのための時計メーカーと呼ばれる地位を確立したことです。また、チャイム機構を備えた時計の動作方法に隠された秘密を公開し、極めて貴重なタイムピースを装飾する稀有な技法を有する職人たちの技を称えます。

ジャガー・ルクルトの本拠地であるジュウ溪谷に敬意を表したこの展覧会には、見る人に没入感を与える8Dビデオによるインスタレーションが設置しており、溪谷の自然な景観を体験するだけでなく、ジャガー・ルクルトとその平穏な周辺環境との深いつながりを感じることができます。

「THE SOUND MAKER (サウンドメーカー)」展は、11月10日から22日まで、中国の成都にある遠洋太古里 Sino-Ocean Taikoo Li Chengdu の広東ホールで開催されます。



THE SOUND MAKER について

2020 年、ジャガー・ルクルトは THE SOUND MAKER (サウンドメーカー) を称え、ジュウ溪谷の日々の生活の背景をなす自然の音と、ミニッツリピーター機構を搭載した時計の素晴らしい伝統にオマージュを捧げます。

150 年に渡り培ってきた卓越したミニッツリピーターの職人技を新たな方法で表現します。 ジャガー・ルクルトが 1870 年に初めてミニッツリピーターを製造してから 150 年間、ミニッツリピーターはジャガー・ルクルトの極めて得意な分野でありつづけ、比較的簡易なアラームから非常に複雑なグラン・ソヌリやミニッツリピーターにいたるまで、あらゆる種類の 200 以上のキャリバーがその技術力を示しています。同時に、ジャガー・ルクルトの時計職人もデザイナーも、音質と美の基準を新たにする数々の革新的技術で特許を取得しています。